

Ryukoku

# 親和会だより

115号  
2018.9



# CONTENTS

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 2018年度親和会定期総会 報告/2018年度親和会本部役員紹介 | 03 |
| 2018年度親和会事業計画                    | 04 |
| 2018年度親和会予算                      | 06 |
| 2017年度親和会決算                      | 07 |
| 2017年度親和会優秀者表彰制度受賞者一覧            | 08 |
| 親和会講演会 講演録                       | 10 |
| 大学懇談会 講演録                        | 12 |
| Information                      | 14 |
| Schedule 2018年10月~2019年3月        | 15 |
| 保護者相談窓口のご案内                      |    |

## 表紙写真：体育局ハンドボール部の創部50周年

2017年12月3日(日)、体育局ハンドボール部の創部50周年を祝い、大学関係者、指導者やOB・OG、現役学生の総勢70名が集まり祝賀会を開催しました。

ハンドボール部は、1968年6月に「同好会」として発足し、1979年に「準認定同好会」として体育局に入局、1984年に「認定同好会」、1994年に正式に「部」として昇格し、現在に至ります。

祝賀会の開会にあたり、創設者である一期生西川良次さん(本年5月逝去)が、手作りのゴールで練習したエピソード等、創設当時の活動を振り返って挨拶しました。

また、祝賀会に先立ち同日に実施した、OB・OG交流戦には、50周年ということもあり多くのOB・OGが集まり、現役や若いOB・OGに混じり、往年の名プレーヤー達も果敢にシュートを放つなど、変わらぬ闘志が見られました。

今回の50周年記念行事により、OB・OGと現役学生の距離が一層縮まりました。

今後もハンドボール部一丸となって更なる発展を目指していきます。

## 第57回親和会定期総会、親和会講演会を開催！

2018年5月12日(土)に、深草キャンパス3号館において、第57回親和会定期総会、親和会講演会、全国保護者懇談会(京都会場)を開催しました。

親和会定期総会は、年に1度、龍谷大学学生の全保護者へ案内を送付し、会計・会務の報告、予算の承認、理事及び監事の選出、その他必要な事項を審議いただき、親和会としても最も重要な会議です。多くの保護者の皆様に参加いただきやすいよう、今年度も全国保護者懇談会(京都会場)と合わせて開催いたしました。

全国保護者懇談会(京都会場)では、最初に、入澤崇学長にご挨拶いただきました。また、保護者の皆様の関心も高い龍谷大学の就職状況について、塩見洋一キャリアセンター長よりご説明いただき、保護者の方も熱心に耳を傾けておられました。

引き続き、定期総会においては、2017年度事業報告及び決算報告、2018年度新役員の選出、2018年度事業計画及び事業予算について審議をいただき、全ての議案について承認をいただきました。

親和会講演会では、長谷川岳史教学部長に「学びをつなげる 学びがつながる～龍谷大学ラーニング commonsの取り組み～」をテーマに、深草・瀬田・大宮学舎の3学舎に設置されましたラーニング commonsについてご講演をいただきました。

保護者アンケートには、「私の子ども時代と比較して、座学よりも実学重視となりコミュニケーション能力が高まっていくことがわかりました」「教授の軽快な語りの中にもcommonsへの深い愛情と熱意を感じました」など、多数の好評なご意見をいただきました。(講演内容の詳細はP10、11参照ください)

講演会終了後は、子どもの学修成績について教職員と直接面談を行う「学修懇談会」、進路・就職について面談を行う「就職懇談会」、「留学説明会」、「学生生活相談」、「教職説明会」など様々な相談会を開催し、会場は熱心に相談される保護者の皆様で賑わいました。

定期総会・全国保護者懇談会の終了後は、3号館地下食堂において保護者相互の懇親を深める懇親会を開催しました。龍谷大学が誇る吹奏楽部とバトン・チア SPIRITSによる毎年恒例の共演アトラクションも懇親会に華を添え、和やかに懇親を深めていただくことができました。



### 2018年度親和会本部役員紹介



会長  
岡 玲



副会長  
北條 悟



副会長  
石野 元彦



副会長  
松本 智子



監事  
大谷 弘子



監事  
奥野 嘉奈子



常任理事  
吉岡 真紀

# 2018年度 親和会事業計画

## A. 保護者対象事業

### 1. 2018年度(第57回)親和会定期総会の開催

新年度(2018年度)の親和会事業を審議・決定するため会則第10条第1号に基づき定期総会を開催する。  
日時:2018年5月12日(土) 場所:龍谷大学深草学舎

### 2. 全国保護者懇談会(大学との共催)の開催

■**親和会** 学生生活、修学状況、就職問題等について、直接教職員から説明・報告を受け、保護者が日頃抱えている疑問や問題等の解決をはかる。また各都道府県における保護者同士の親睦・交流を深め、情報交換の場としても利用していただき龍谷大学ファミリーとしての絆を強める。

■**大学** 保護者に本学の教育理念(学修支援、就職支援)を説明・報告し、その理解を求める。また意見聴取・交換を通して相互理解を目指し、保護者と大学が一体となって、さらなる教育・研究の充実・発展を期す。

上記目的の実現のため、龍谷大学および龍谷大学親和会の共催事業として保護者懇談会を開催する。

開催地:全国29会場にて開催(大阪会場含む) 時期:2018年5月中旬～7月中旬

内容:①大学現況報告、②親和会事業説明、③個別相談またはグループ懇談(成績・就職・学生生活)④懇親会

### 3. 三者(大学・親和会・校友会)共催事業の開催

大学、親和会、校友会(卒業生組織)の三者による共催事業に取り組む。

#### ①大学懇談会(大阪)の開催

大阪における保護者懇談会は、「大学懇談会」と称して、校友会(卒業生組織)とも連携の上、就職支援事業を強化した形で実施する(講演会を開催する)。

日程:2018年6月30日(土) 場所:ホテルニューオータニ大阪

#### ②龍谷大学ホームカミング・デー2018の開催

龍谷祭(学園祭)の開催期間中に保護者・卒業生を対象とした見学企画イベントを開催する。

日程・場所:2018年10月27日(土)瀬田学舎 2018年11月3日(土)深草学舎

内容:本願寺書院見学ツアー、龍谷祭模擬店利用券配付(予定)

#### ③資格取得支援事業の開催

税理士や会計士等を目指す学生を対象に、龍谷大学校友会職域支部の職業会計人グループ(RAS)会員の協力のもと、説明会・相談会・講習会等を開催する。

日程:2018年4月～12月にかけて適宜開催 場所:深草学舎

#### ④認知度向上及び志願者確保等を目的とした事業の開催

2011、2012年度に北陸エリアで実施してきた認知度向上事業を踏まえ、2013～2018年度の6カ年計画として、重点地域(大阪・奈良・広島・岡山・香川・徳島・愛知・富山・石川・福井)を設定し、本学の認知度向上及び新たな志願者の掘り起こし等を目的としたイベント、事業を展開する。2018年度は6カ年計画の6年目にあたり、重点地域として岡山・徳島・奈良・大阪を設定し事業に取り組む。

日程:2018年5月～12月頃を予定 場所:岡山・徳島・奈良・大阪

内容(予定):入試イベントの開催、高大連携イベントの開催、地元中・高校生と本学課外活動サークルとの交流事業、合同企業説明会、メディア媒体による情報発信 等

### 4. 広報関連事業 「親和会だより」発行、保護者向けホームページ更新

広報関連事業として「親和会だより」を年2回発行・郵送する。また、保護者向けホームページを更新し、インターネット上での情報提供を行う。

### 5. 保護者への成績表送付事業支援

大学から保護者への成績表送付により、保護者・学生・大学との教育連携が強化され、学修状況の改善が図られるよう取り組む。郵送費等の支援を行い、大学と連携し推進する。

送付時期:第2学期成績 2018年3月下旬 第1学期成績 2018年9月下旬(年2回予定)

送付対象:各学部・短期大学部(大学院生、卒業判定対象学生は除く) 保証人宛に発送

### 6. 龍谷総合学園学校保護者会連合会活動

龍谷総合学園学校保護者会連合会活動へ参画し活動を推進する。



## B. 学生・大学支援事業

### 1. 親和会奨学事業の実施

#### ①親和会海外研修奨学金制度(夏期・春期の年2回)

学生が自主的に計画した海外研修に対し奨学金を給付する。「自己研鑽コース(10万円以内)」と「研究コース(30万円以内)」の2コースで、夏期・春期の年2回の募集を行う。

#### ②親和会学生活動奨励金制度

学内外の活動を問わず、他の範となるべき優秀な業績をおさめた学生の団体に対して奨励金を給付する。

#### ③親和会学生救済型奨学金制度

修学の意志はあるが、保護者(家計支持者)の死亡・離職・失職等により学費工面が困難となった学生に対して、学費等支援を行う学生救済型の奨学金を給付する。

### 2. 自然災害救済支援活動の実施

#### ■親和会自然災害等特別見舞金制度

学生・保護者の自然災害等による被災者に対し、見舞金を給付する。

また、東日本大震災により被災した学生の帰省費用の援助を継続して実施する。

### 3. 親和会助成事業の実施

#### ①教育・研究活動助成制度

学生個人、又は団体による自主的な学修・研究活動を支援することを目的とし、課題研究発表会の開催や論文集作成等に対して助成を行う。

#### ②特別助成制度

全国大会出場、周年記念事業等の臨時的な課外活動及び大学事業に対して援助を行う。

### 4. 入学記念品の贈呈

歓迎の意を込めて、新入生に記念品を贈呈する。

### 5. 卒業時の表彰制度

卒業生の大学への帰属意識醸成を目的として、在学中、優秀な活動・業績を収めた学生に対し、「親和会長賞」を贈呈し、卒業式においてその表彰を行う。

### 6. 大学の学生支援事業への助成

龍谷大学が実施する学生支援事業に対し直接的な助成を行い、その事業の一層の充実及び拡大を目指すよう協力する。

- ①課外活動等への助成
- ②学生健康管理(健康診断)への助成
- ③就職・キャリア開発支援業務への助成
- ④宗教教育活動への助成
- ⑤海外研修事業への助成

### 7. 防災備蓄品等整備にかかる助成

全学的な防火・防災に対応し、災害発生時の対応を強化するため、大学の行う防災備蓄品等整備にかかる費用への助成を行い、親和会として危機管理対策の充実に寄与する。

### 8. 「仏教の思想」科目テキストにかかる助成

全学必修科目である「仏教の思想」科目を履修する入学生(編転入生含む)に対し、本科目のテキスト(「釈尊と親鸞」)の購入にかかる費用を助成する。

### 9. 親和会優秀者表彰制度

様々な分野で著しい成績・成果をおさめた個人・ゼミ・団体等に対し、学生が意欲的に自らの目標に向かって自己研鑽することを奨励する。

### 10. 大学募金活動への協力

教育・研究・学生活動支援や施設整備の環境整備等の目的で、大学が実施する募金活動(主に新入生対象)に賛同し、寄付の呼びかけを行う。

### 11. 積立金事業

将来的な展望に立ち、継続的に学生生活を支援し、親和会事業を円滑に運営できるよう積立金事業を実施する。

- ①奨学金積立金
- ②学生施設・課外活動支援積立金
- ③学生災害特定引当積立金
- ④記念事業積立金

# 2018年度 龍谷大学親和会予算

自 2018年4月1日  
至 2019年3月31日

## ■収入の部

(単位:円)

| 款 | 項 | 科 目    | 予 算 額 ①     | 前年度予算額②     | 前年比予算額差異<br>③(①-②) |
|---|---|--------|-------------|-------------|--------------------|
| 1 |   | 会 費    | 160,671,000 | 158,528,000 | 2,143,000          |
|   | 1 | 会 費    | 145,950,000 | 143,801,000 | 2,149,000          |
|   | 2 | 入 会 金  | 14,721,000  | 14,727,000  | △ 6,000            |
| 2 |   | 寄 付 金  | 0           | 0           | 0                  |
| 3 |   | 雑 収 入  | 20,000      | 20,000      | 0                  |
| 4 |   | 資産運用収入 | 37,198      | 35,293      | 1,905              |
| 5 |   | 前年度繰越金 | 40,104,117  | 47,537,953  | △ 7,433,836        |
|   |   | 合 計    | 200,832,315 | 206,121,246 | △ 5,288,931        |

## ■支出の部

(単位:円)

| 款  | 項 | 科 目              | 予 算 額 ①     | 前年度予算額②     | 前年比予算額差異<br>③(①-②) |
|----|---|------------------|-------------|-------------|--------------------|
| 1  |   | 事 業 費            | 147,520,000 | 149,250,000 | △ 1,730,000        |
|    | 1 | 課外活動助成費          | 18,400,000  | 18,400,000  | 0                  |
|    |   | 1 クラブ活動助成費       | 10,000,000  | 10,000,000  | 0                  |
|    |   | 2 集団指導助成費        | 5,000,000   | 5,000,000   | 0                  |
|    |   | 3 学生会行事助成費       | 1,400,000   | 1,400,000   | 0                  |
|    |   | 4 親和会学生会活動奨励金    | 2,000,000   | 2,000,000   | 0                  |
| 2  |   | 福利厚生助成費          | 4,750,000   | 4,750,000   | 0                  |
|    | 1 | 健康管理費            | 3,300,000   | 3,300,000   | 0                  |
|    |   | 2 保健管理センター助成費    | 550,000     | 550,000     | 0                  |
|    |   | 3 学生災害補償費        | 900,000     | 900,000     | 0                  |
| 3  |   | 就職・キャリア開発助成費     | 10,000,000  | 10,000,000  | 0                  |
| 4  |   | 学生生活助育助成費        | 16,200,000  | 16,200,000  | 0                  |
|    | 1 | スクールバス運行助成費      | 2,700,000   | 2,700,000   | 0                  |
|    |   | 2 学生会館運営助成費      | 500,000     | 500,000     | 0                  |
|    |   | 3 宗教教育助成費        | 2,000,000   | 2,000,000   | 0                  |
|    |   | 4 特別助成費          | 11,000,000  | 11,000,000  | 0                  |
| 5  |   | 国際交流助成費          | 4,000,000   | 3,500,000   | 500,000            |
|    | 1 | 親和会海外研修奨学金       | 3,000,000   | 3,000,000   | 0                  |
|    |   | 2 海外研修助成費        | 1,000,000   | 500,000     | 500,000            |
| 6  |   | 全国保護者懇談会実施費      | 43,000,000  | 43,000,000  | 0                  |
| 7  |   | 広報事業費            | 5,000,000   | 6,000,000   | △ 1,000,000        |
| 8  |   | 教育・研究助成費         | 8,000,000   | 8,000,000   | 0                  |
| 9  |   | 共催事業助成費          | 4,000,000   | 4,000,000   | 0                  |
| 10 |   | 新入生歓迎記念品費        | 5,200,000   | 5,200,000   | 0                  |
| 11 |   | 卒業時表彰費           | 600,000     | 600,000     | 0                  |
| 12 |   | 親和会学生会救済型奨学金     | 10,000,000  | 10,000,000  | 0                  |
| 13 |   | 自然災害等特別見舞金       | 2,000,000   | 2,000,000   | 0                  |
| 14 |   | 保護者成績表送付助成費      | 4,000,000   | 4,000,000   | 0                  |
| 15 |   | 防災備蓄品等整備助成金      | 1,200,000   | 1,500,000   | △ 300,000          |
| 16 |   | 「仏教の思想」科目テキスト助成費 | 6,220,000   | 7,150,000   | △ 930,000          |
| 17 |   | 親和会優秀者表彰費        | 4,950,000   | 4,950,000   | 0                  |
| 2  |   | 運 営 費            | 22,400,000  | 23,400,000  | △ 1,000,000        |
|    | 1 | 人件費              | 4,500,000   | 4,500,000   | 0                  |
|    |   | 2 印刷製本費          | 1,000,000   | 1,000,000   | 0                  |
|    |   | 3 郵便費            | 1,000,000   | 1,000,000   | 0                  |
|    |   | 4 出張旅費           | 7,000,000   | 6,500,000   | 500,000            |
|    |   | 5 会議費            | 6,000,000   | 6,500,000   | △ 500,000          |
|    |   | 6 記念品・謝礼費        | 2,000,000   | 3,000,000   | △ 1,000,000        |
|    |   | 7 備品費            | 200,000     | 200,000     | 0                  |
|    |   | 8 雑費             | 200,000     | 200,000     | 0                  |
|    |   | 9 慶弔経費           | 500,000     | 500,000     | 0                  |
| 3  |   | 龍谷総合学園学校保護者会連合会費 | 1,250,000   | 1,240,000   | 10,000             |
| 4  |   | 引当積立金            | 20,000,000  | 20,000,000  | 0                  |
|    | 1 | 奨学金積立金           | 5,000,000   | 5,000,000   | 0                  |
|    |   | 2 学生施設・課外活動支援積立金 | 5,000,000   | 5,000,000   | 0                  |
|    |   | 3 学生災害特定引当積立金    | 5,000,000   | 5,000,000   | 0                  |
|    |   | 4 記念事業積立金        | 5,000,000   | 5,000,000   | 0                  |
| 5  |   | 予 備 費            | 9,662,315   | 12,231,246  | △ 2,568,931        |
| 6  |   | 次年度繰越金(決算後に確定)   | 0           | 0           | 0                  |
|    |   | 合 計              | 200,832,315 | 206,121,246 | △ 5,288,931        |

# 2017年度 龍谷大学親和会決算

自 2017年4月1日  
至 2018年3月31日

## ■収入の部

(単位:円)

| 款 項 | 科 目     | 予 算 額 ①     | 決 算 額 ②     | 差 異 ③(①-②) |
|-----|---------|-------------|-------------|------------|
| 1   | 会 費     | 158,528,000 | 156,995,000 | 1,533,000  |
| 1   | 1 会 費   | 143,801,000 | 141,995,000 | 1,806,000  |
| 2   | 2 入 会 金 | 14,727,000  | 15,000,000  | △ 273,000  |
| 2   | 寄 付 金   | 0           | 0           | 0          |
| 3   | 雑 収 入   | 20,000      | 230,000     | △ 210,000  |
| 4   | 資産運用収入  | 35,293      | 29,808      | 5,485      |
| 5   | 前年度繰越金  | 47,537,953  | 47,537,953  | 0          |
|     | 合 計     | 206,121,246 | 204,792,761 | 1,328,485  |

## ■支出の部

(単位:円)

| 款 項 目 | 科 目                 | 予 算 額 ①     | 決 算 額 ②     | 差 異 ③(①-②)   |
|-------|---------------------|-------------|-------------|--------------|
| 1     | 事 業 費               | 149,250,000 | 125,281,104 | 23,968,896   |
| 1     | 1 課外活動助成費           | 18,400,000  | 18,400,000  | 0            |
| 1     | 1 クラブ活動助成費          | 10,000,000  | 10,000,000  | 0            |
| 2     | 2 集団指導助成費           | 5,000,000   | 5,000,000   | 0            |
| 3     | 3 学友会行事助成費          | 1,400,000   | 1,400,000   | 0            |
| 4     | 4 親和会学生会活動奨励金       | 2,000,000   | 2,000,000   | 0            |
| 2     | 2 福利厚生助成費           | 4,750,000   | 4,750,000   | 0            |
| 1     | 1 健康管理費             | 3,300,000   | 3,300,000   | 0            |
| 2     | 2 保健管理センター助成費       | 550,000     | 550,000     | 0            |
| 3     | 3 学生災害補償費           | 900,000     | 900,000     | 0            |
| 3     | 3 就職・キャリア開発助成費      | 10,000,000  | 9,645,817   | 354,183      |
| 4     | 4 学生生活助成費           | 16,200,000  | 12,675,000  | 3,525,000    |
| 1     | 1 スクールバス運行助成費       | 2,700,000   | 2,700,000   | 0            |
| 2     | 2 学友会館運営助成費         | 500,000     | 500,000     | 0            |
| 3     | 3 宗教教育助成費           | 2,000,000   | 1,550,000   | 450,000      |
| 4     | 4 特別助成費             | 11,000,000  | 7,925,000   | 3,075,000    |
| 5     | 5 国際交流助成費           | 3,500,000   | 1,050,000   | 2,450,000    |
| 1     | 1 親和会海外研修奨学金        | 3,000,000   | 1,050,000   | 1,950,000    |
| 2     | 2 海外研修助成費           | 500,000     | 0           | 500,000      |
| 6     | 6 全国保護者懇談会実施費       | 43,000,000  | 40,624,981  | 2,375,019    |
| 7     | 7 広報事業費             | 6,000,000   | 4,500,000   | 1,500,000    |
| 8     | 8 教育・研究助成費          | 8,000,000   | 5,688,085   | 2,311,915    |
| 9     | 9 共催事業助成費           | 4,000,000   | 4,000,000   | 0            |
| 10    | 10 新入生歓迎記念品費        | 5,200,000   | 4,620,000   | 580,000      |
| 11    | 11 卒業時表彰費           | 600,000     | 476,280     | 123,720      |
| 12    | 12 親和会学生会救済型奨学金     | 10,000,000  | 1,692,000   | 8,308,000    |
| 13    | 13 自然災害特別見舞金        | 2,000,000   | 250,000     | 1,750,000    |
| 14    | 14 保護者成績表送付助成費      | 4,000,000   | 3,804,741   | 195,259      |
| 15    | 15 防災備蓄品等整備助成金      | 1,500,000   | 1,500,000   | 0            |
| 16    | 16 「仏教の思想」科目テキスト助成費 | 7,150,000   | 7,144,200   | 5,800        |
| 17    | 17 親和会優秀者表彰費        | 4,950,000   | 4,460,000   | 490,000      |
| 2     | 運 営 費               | 23,400,000  | 18,212,520  | 5,187,480    |
| 1     | 1 人件費               | 4,500,000   | 3,534,455   | 965,545      |
| 2     | 2 印刷製本費             | 1,000,000   | 621,778     | 378,222      |
| 3     | 3 郵便費               | 1,000,000   | 549,076     | 450,924      |
| 4     | 4 出張旅費              | 6,500,000   | 6,588,077   | △ 88,077     |
| 5     | 5 会議費               | 6,500,000   | 4,940,715   | 1,559,285    |
| 6     | 6 記念品・謝礼費           | 3,000,000   | 1,556,000   | 1,444,000    |
| 7     | 7 備品費               | 200,000     | 0           | 200,000      |
| 8     | 8 雑費                | 200,000     | 30,702      | 169,298      |
| 9     | 9 慶弔経費              | 500,000     | 391,717     | 108,283      |
| 3     | 龍谷総合学園学校保護者会連合会費    | 1,240,000   | 1,195,020   | 44,980       |
| 4     | 引 当 積 立 金           | 20,000,000  | 20,000,000  | 0            |
| 1     | 1 奨学金積立金            | 5,000,000   | 5,000,000   | 0            |
| 2     | 2 学生施設・課外活動支援積立金    | 5,000,000   | 5,000,000   | 0            |
| 3     | 3 学生災害特定引当積立金       | 5,000,000   | 5,000,000   | 0            |
| 4     | 4 記念事業積立金           | 5,000,000   | 5,000,000   | 0            |
| 5     | 予 備 費               | 12,231,246  | 0           | 12,231,246   |
| 6     | 6 次年度繰越金            | 0           | 40,104,117  | △ 40,104,117 |
|       | 合 計                 | 206,121,246 | 204,792,761 | 1,328,485    |

# 2017年度親和会優秀者表彰制度受賞者一覧

様々な分野で著しい成績・成果をおさめた個人・ゼミ・団体等に対し、学生が意欲的に自らの目標に向かって自己研鑽することを奨励する制度です。

## (1) 大学院優秀賞

| 研究科      | 専攻            | 学年 | 氏名     |
|----------|---------------|----|--------|
| 文学研究科    | 真宗学専攻         | 2  | 田中 了輔  |
| 文学研究科    | 臨床心理学専攻       | 2  | 荒井 美沙希 |
| 文学研究科    | 日本史学専攻        | 2  | 清水 真好  |
| 文学研究科    | 東洋史学専攻        | 2  | 石田 翔真  |
| 文学研究科    | 日本語日本文学専攻     | 2  | 三井 茜   |
| 法学研究科    | 法律学専攻         | 2  | 園 香代子  |
| 経済学研究科   | 経済学専攻         | 2  | 王 海夢   |
| 経営学研究科   | 経営学専攻         | 2  | 李 昱    |
| 社会学研究科   | 社会学専攻         | 2  | 洪 美齡   |
| 理工学研究科   | 数理情報学専攻       | 2  | 野田 康矢  |
| 理工学研究科   | 電子情報学専攻       | 2  | 菊地 悠樹  |
| 理工学研究科   | 電子情報学専攻       | 2  | 松谷 貴司  |
| 理工学研究科   | 機械システム工学専攻    | 2  | 福永 二三佳 |
| 理工学研究科   | 物質化学専攻        | 2  | 西村 涼   |
| 理工学研究科   | 情報メディア学専攻     | 2  | 小林 祐介  |
| 理工学研究科   | 情報メディア学専攻     | 2  | 坂尾 昂也  |
| 理工学研究科   | 環境ソリューション工学専攻 | 2  | 沢田 隼   |
| 国際文化学研究科 | 国際文化学専攻       | 2  | 松永 瞭太  |
| 実践真宗学研究科 | 実践真宗学専攻       | 3  | 永江 武雄  |
| 実践真宗学研究科 | 実践真宗学専攻       | 3  | 篠田 准照  |
| 政策学研究科   | 政策学専攻         | 2  | 赤松 喜和  |

## (2) 学部優秀賞

| 学部     | 学科             | 学年 | 氏名     |
|--------|----------------|----|--------|
| 文学部    | 真宗学科           | 4  | 鷺地 宗   |
| 文学部    | 仏教学科           | 4  | 曾我部 智成 |
| 文学部    | 哲学科哲学専攻        | 4  | 山本 夢   |
| 文学部    | 哲学科教育学専攻       | 4  | 荒木 友希恵 |
| 文学部    | 臨床心理学科         | 4  | 新田 容子  |
| 文学部    | 歴史学科日本史学専攻     | 4  | 吉兼 千陽  |
| 文学部    | 歴史学科東洋史学専攻     | 4  | 菖浦谷 ゆき |
| 文学部    | 歴史学科仏教史学専攻     | 4  | 藤原 有希  |
| 文学部    | 日本語日本文学科       | 4  | 吉鶴 みゆき |
| 文学部    | 英語英米文学科        | 4  | 大塚 丈椰  |
| 経済学部   | 現代経済学科         | 4  | 摺木 亮太  |
| 経済学部   | 国際経済学科         | 4  | 田畑 紀枝  |
| 経営学部   | 経営学科           | 4  | 住野 美菜子 |
| 法学部    | 法律学科           | 4  | 坂本 一喜  |
| 理工学部   | 数理情報学科         | 4  | 徳留 陽太  |
| 理工学部   | 電子情報学科         | 4  | 西田 修都  |
| 理工学部   | 機械システム工学科      | 4  | 中村 優   |
| 理工学部   | 物質化学科          | 4  | 堀内 亜侑  |
| 理工学部   | 情報メディア学科       | 4  | 船越 敬史  |
| 理工学部   | 環境ソリューション工学科   | 4  | 原 光希   |
| 社会学部   | 社会学科           | 4  | 井上 将馬  |
| 社会学部   | コミュニティマネジメント学科 | 4  | 石川 淳希  |
| 社会学部   | 地域福祉学科         | 4  | 服部 淳志  |
| 社会学部   | 臨床福祉学科         | 4  | 藤本 葉寿  |
| 政策学部   | 政策学科           | 4  | 金沢 あづみ |
| 国際文化学部 | 国際文化学科         | 4  | 南出 紗緒里 |
| 短期大学部  | 社会福祉学科         | 2  | 中野 和泉  |
| 短期大学部  | こども教育学科        | 2  | 下井 朱理  |



## (3) 学部教育賞

| 学部                     | 学科             | 学年 | 氏名・団体名   |
|------------------------|----------------|----|--|
| 文学部                    | 真宗学科           | 2  | 石山 惠然  |
| 文学部                    | 仏教学科           | 2  | 草深 紗希  |
| 文学部                    | 哲学科哲学専攻        | 2  | 福田 優   |
| 文学部                    | 哲学科教育学専攻       | 2  | 松本 靖子  |
| 文学部                    | 臨床心理学科         | 2  | 横山 シオン   |
| 文学部                    | 歴史学科日本史学専攻     | 2  | 元治 豊光  |
| 文学部                    | 歴史学科東洋史学専攻     | 2  | 志田 夏美  |
| 文学部                    | 歴史学科仏教史学専攻     | 2  | 伊藤 花奈  |
| 文学部                    | 歴史学科文化遺産学専攻    | 2  | 佐々木 直緒   |
| 文学部                    | 日本語日本文学科       | 2  | 松尾 大地  |
| 文学部                    | 英語英米文学科        | 2  | 富山 蒼太  |
| 文学部                    |                | 3  | 打本弘祐ゼミ(17名)<br>伊藤勇気・今井智教・熊谷蓮生・小松正導・阪上裕都・齋藤真弥・中河智徳・長安隼人・橋本凜・原弥映・日野有希・平木顕・水本佳那・矢島朱里・柳田慶慈・吉水昌洋・服部奈央子  |
| 文学部                    |                | 3  | 野呂靖・大谷由香ゼミ(21名)<br>岡崎大輔・塚田紗英・辻亞沙海・堤亮然・中野遼太郎・清水瑞生・浅賀美穂・飯原穂南・馬場江理奈・吉田結香・坂本恵理・山本百合子・原田侑弥・喜田大介・今枝奈津実・片岡千咲・川村元紀・栗原ゆう・田口紗佳・長谷部こころ・片岡智貴   |
| 経済学部                   |                | 1  | 佐々木 洋輔   |
| 経済学部                   | 現代経済学科         | 2  | 作田 和繁  |
| 経済学部                   | 現代経済学科         | 2  | 松田 海   |
| 経済学部                   | 現代経済学科         | 3  | 四谷 紗也  |
| 経済学部                   | 現代経済学科         | 3  | 加納 晴香  |
| 経営学部                   | 経営学科           | 4  | 島本 明季  |
| 経営学部                   | 経営学科           | 3  | 佐藤 ダリオ   |
| 経営学部                   | 経営学科           | 2  | 上田 響子  |
| 経営学部                   | 経営学科           | 1  | 中川 倫太郎   |
| 法学部                    |                |    | 中島琢磨ゼミ(37名)<br><4年>池田隆二・國嶋悠稀・中坪大・中西友汰・林光彰・箕浦庸介・宮垣知樹<3年>倉田康平・齋藤遥・辻祐児・池本亮平・岡村拓斗・倉知諺平・鯉田勇希・小見田竜平・四宮莞爾・谷田麟太郎・近永友真・橋井明夫・永井玲大・大野木隆朗・杉原隆真・北田智裕・小山夏美<2年>大北真也・岸本辰斗・西原翼・山田美歩・小梅英介・大西直人・小野大地・笠原亜斗夢・木林一貴・高木晴崇・筒井利啓・藤本文寛・森俊介                          |
| 法学部                    | 法律学科           | 3  | 嶋田 可葉  |
| 理工学部                   | 数理情報学科         | 3  | 岡田 直也  |
| 理工学部                   | 電子情報学科         | 3  | 池口 翼   |
| 理工学部                   | 機械システム工学科      | 1  | 川面 武蔵  |
| 理工学部                   | 物質化学科          | 4  | 清水 諒介  |
| 理工学部                   | 情報メディア学科       | 3  | 田矢 康祐  |
| 理工学部                   | 環境ソリューション工学科   | 3  | 大西 良亮  |
| 社会学部                   | 社会学科           | 2  | 名嘉山 皓太   |
| 社会学部                   | コミュニティマネジメント学科 | 2  | 青野 祐希  |
| 社会学部                   | 現代福祉学科         | 2  | 杉村 歩美  |
| 社会学部                   | 現代福祉学科         | 2  | 井上 奈美  |
| 社会学部                   | 社会学科           | 2  | 大久保 由樹   |
| 政策学部                   |                | 3  | 阿部大輔ゼミ(13名)<br>石家由美子・和泉沙里・大仲智也・岡本万梨子・田中恵穂・田中佐季・田中裕稀・田中優大・中村裕也・菅谷友紀子・平田小百合・古川雄太・増谷香乃子   |
| 政策学部                   |                |    | 大石尚子ゼミ(41名)<br><4年>石原亮佑・伊藤佳奈代・齋藤貴也・佐倉崇之・曾我真理・高田健吾・辻夏来・寅若美鈴・二宮菜美・廣瀬緑・三藤沙織・吉田夕梨香・<3年>安藤憲武・岩本一馬・大西晴日・奥村直斗・河原翔太・川村真衣・塩谷優里佳・杉山直人・曾束知美・高池久登・種池林太郎・藤野陽香<2年>浅川知慶・岩淵元大・織田番朱美・神原達也・合田遥南・藤田尚希・島内桃花・白井夢乃・田中稜也・谷口仁紀・中尾明日香・梨木桃花・西村玲美・目片舞香・山崎响・幸大和・米谷萌加 |
| 国際学部                   | 国際文化学科         | 2  | 井上 胡桃  |
| 国際学部                   | 国際文化学科         | 2  | 相楽 芽奈  |
| 国際学部                   | 国際文化学科         | 2  | 橋本 麻愛  |
| 国際学部                   | グローバルスタディーズ学科  | 2  | 脇田 知実  |
| 農学部                    | 植物生命科学科        | 3  | 玉川 裕斗  |
| 農学部                    | 資源生物科学科        | 3  | 前田 大輝  |
| 農学部                    | 食品栄養学科         | 3  | 角 彩可   |
| 農学部                    |                | 3  | 食料農業システム調査実習チーム(18名)<br>稲田遙香・北田雄大・木村千夏・児玉舜・瀧本真由・田中成・田村知花・鳥居広輝・中代華乃・樋垣智章・尾藤瑠星・藤田郁弥・古川こむぎ・堀部祐輝・増田新之佑・山内玲未子・山口大貴・和田走  |
| 短期大学部                  | 社会福祉学科         | 1  | 野口 和香  |
| 短期大学部                  | こども教育学科        | 2  | 金川 力也  |
| 学部共通コース/英語コミュニケーションコース | 経済学部国際経済学科     | 4  | 大八木 彩花   |
| 学部共通コース/スポーツサイエンスコース   | 経済学部現代経済学科     | 3  | 福本 光喜  |
| 学部共通コース/国際関係コース        | 経営学部経営学科       | 3  | 阿部 大城  |
| 学部共通コース/国際関係コース        | 経営学部経営学科       | 3  | 門馬 未知  |

# 「学びをつなげる 学びがつながる ～龍谷大学ラーニングcommonsの取り組み～」

長谷川 岳史氏  
龍谷大学教学部長・経営学部教授



はせがわ たけし  
長谷川 岳史

1968年、埼玉県に生まれる 専門は中国仏教学  
大学教育改革の取り組みにも関わり、日本学術振興会「大学教育再生  
加速プログラム委員会」ペーパーレフェリー、日本私立大学連盟「FD推  
進ワークショップ運営委員会」委員、教学企画部長などを歴任



近年、日本の各大学においてラーニングcommons(以下、commonsと記す)を設置する大学が多くなってきました。本日は、今までにないスペースを作ろうということで発想したcommonsについてお伝えするとともに、教室以外の学び空間、授業以外で学んでいる学生の姿、そしてcommonsを推進していく取組についてご紹介したいと思います。

龍谷大学における全学的な課題として、前学長がよく仰っていた中に「学生の居場所が少ない」ということがありました。本学では、屋根のないオープンスペースがありますが、気候の良い季節はいいけれども真夏、真冬はそのスペースにいることができない。また、建物も閉じられた感じがし、授業以外の時間に学生が何をしているのかよくわかりません。活気がない、閑散としたキャンパス、学生はいるけれども姿が見えないという印象です。更に教員も担当授業の学生との関係しか広がりを持たない授業観・教育観となりがちでした。もっと学生の姿が見えるようにしたい、或いは、教職員だけでなく各学部の教育や学生が繋がるような仕掛けが作れないかという思いでした。

私たちが検討を始めた2011年辺りから、日本でもcommonsが取り上げられるようになりました。もとは、アメリカの大学で、図書館のデジタル化が進み、今まで本を置いていたスペースが空くようになってきたので、学生同士のディスカッションなどができる空間を作ったことに始まります。

本学では、2011年度に、図書館、国際センター、情報メディアセンターが連携し、図書館の中にcommonsを作れないかと検討を開始しました。並行して、大学教育開発センターでは、学生の学修支援環境について検討がなされていました。新校舎の建築構想もありましたので、新校舎にcommonsを設置できないかと、全学的に検討が始まることになりました。そこで研究プロジェクトを立ち上げ、他大学への視察も行い、2015年度に開設することとなりました。このプロジェクトの中で感じたことは、commonsを

作ることが目的になってはいけないということです。一番大切なのは、その大学がどのような空間を作りたいのかという「コンセプト」です。コンセプトに基づき、「～しかできない」ではなく「～もできる」という可能性を秘めた場へと育てていくという観点が重要なのです。「～もできる」というのは、例えば、本学のcommonsの机は、4人机、6人机というものはありません。平行台形の机を組み合わせることによって、1人でも、2人でも、20人でも座れるような仕組みになっています。最初から、「○人しかできない」ということを極力なくしています。

commonsには、パソコンやプロジェクトなど充実した機材をたくさんおいて、学生に利用させるという形態のものもあります。しかし、この方法ですと、食へてはダメ、飲んではダメ、持ち込んではダメという禁止事項が増えるため、本学には馴染まないのではないかとりました。

本学の場合、新校舎の和顔館は、京阪の深草駅から来る学生、帰っていく学生などが滞留する場にあるので、できる限りオープンスペースにし、学生の自主性に任せ、場所によっては飲食も可能とする、ということに重点をおきました。

本学では、学生主体のチューデントcommons、語学系中心のグローバルcommons、図書館が主体となるナレッジcommonsの3つを併せた非常に珍しい形態をとり、これらを総称してラーニングcommonsと呼んでいます。3つのcommonsで展開をしているのは、全国的にも珍しいかと思います。深草、瀬田、大宮の各学舎へ設置し、commonsだけが「学びの空間」ではなく、大学全体が「学びの空間」になっていくことを狙いとしています。commonsで全てができる訳ではありません。あくまでcommonsは拠点として、展開させていくことにしました。

commonsを設置する上で参考にしたのは、関西学院大学神戸三田学舎のアカデミックcommonsです。学部の交流を促すため、バス停の前にアカデミックcommonsを設置し、学生がcommons

近辺を必ず通るしかけになっています。当然、ゲートのようなものも存在しません。机の配置も自由です。学生に自由に活動してもらおうというコンセプトを非常に大切にしている大学です。

また、三重大学も参考にしました。三重大学は、ラーニングコモンズと図書館が通路で繋がっています。本学では3つのコモンズが必要でしたので、併存している例として参考にしました。

また、図書館の中にコモンズを設置している大学として、東北大学が挙げられます。昔の図書館のイメージとほど遠く、オープンスペースで学生が自由に学修し、本は壁側に置いてあります。図書館の中でもかなりのスペースをとって展開している例です。

本学の運営体制は、教学企画部と図書館とグローバル教育推進センターの3つで運営しています。基本方針は、学生の多様な、主体的な学びを支援する場であることを踏まえ、学生の意見等を聞き運営することを原則とする、としています。

学生の協力も得ています。深草を拠点に、大学院生15名程度が研修を受けた上で、学部生のライティング支援を開始しました。その他、各コモンズを所管している部署と学生の団体で学生が企画を考えたり、グローバルコモンズでは、留学経験者が留学相談を行う場所として活用したりしています。こういった学生をコモンズサポーターとして位置づけ、学生が参画し、いろんなイベントを考えてもらう、という形で進めています。

コモンズは、深草学舎では、和顔館の1階にスチューデントコモンズとグローバルコモンズ、図書館の地階にナレッジコモンズを作りました。和顔館は、ガラス張りで、究極の可視化を実現した校舎です。作った当初は、落ち着かないという意見もありましたが、自分の授業以外の授業も見えることで、他の授業の形態があることを知ったり、教員も自分の授業スタイルだけでなく他の教員のスタイルを知る、という影響を受けていると思います。

学生は、ナレッジコモンズで勉強したり、スチューデントコモンズでディスカッションしたり、語学を学びたい学生は、グローバルコモンズへ向かう。和顔館には、教室、研究室もありますので、教室と図書館、ゼミ室と研究室が一体化している中にコモンズがあるという環境は理想的な環境だと思います。

瀬田学舎では、智光館で展開しました。学生は授業が終わるとバス停に集まってくるので、バス停前の智光館で学生が滞留できるように工夫しました。地階にスチューデントコモンズとナレッジコモンズを設置しウッドデッキで繋がっています。2階にグローバルコモンズがあります。瀬田学舎は、理工、社会、農学部ですので、留学はあまり関係ないと思われるかもしれませんが、去年から利用者が激増しています。開設当初は、学生も場所がわからないよう利用者が増えませんでした。最近では、活況を呈しています。

大宮学舎では、東麓を改築することになり、これを契機にライティングサポートセンターを全学舎に開設したのが今年度です。

この東麓の中にスチューデントコモンズを設置しました。図書館にナレッジコモンズのスペースもあります。大宮学舎にも平行台形の机を設置しています。

さて、本学のコモンズでは、多くのエリアを飲食可能にしています。飲食しながら学修することができます。飲食可能なエリアのルールは、①こぼすとイケないので立ち飲みはダメ。②スープを捨てるところがないのでカップラーメンはダメ。③音楽を流すのはダメ。④極端に大きな声で話すのはダメ。学生を信じてこの4つのルールのみで運用しています。

ライティング支援は毎日行っていますし、学生同士のディベートやゼミのディスカッションなどでも利用されています。予約制ではありませんが、学生は、今日はコモンズでやろうか、といった風に利用しています。

利用者数は、ゲートがないため職員が16:30までは目視で確認していますが、深草学舎であれば、16:30以降の時間帯にもかなりの学生がコモンズにいます。21:45までパソコンの貸出等もできます。コモンズができてから、夜になっても学生がいる、授業期間外でも学生が見えるようになりました。今までもいたのですが、可視化されることによって大学に動きが出てきているように思います。

2015年度のオープン直後は、学生にどのように使ってもらおうか、ということに悩んでいたのですが、学生はごく自然に利用し始めました。今まで見えなかったと思っていた学生は、空いている教室で学修していたということです。今まで閉鎖的な場所で学修していた学生が、コモンズによって、一方では政策学部の学生が、その横で経営学部の学生がディスカッションしているという姿が、日常的に見られます。そして、各学部・学科のスタイルにとらわれていた授業観とか学修観、大学観が少しずつ取り入れられるようになりました。このような相乗効果で、あのやり方も取り入れてみようという風に発展していけばいいかと思います。

実際には、私達が手取り足取り教えるよりも、学生達が主体的に活動を始めてくれたということが本学としては非常に嬉しいことでした。今後は、どんな新しい学びの姿を見せてくれるのかということを楽しみにしながら、学生の姿を見守っているのが今の龍谷大学です。



# 「就職活動は自己成長のチャンス」

池田 俊介氏

パナソニック株式会社 人材開発カンパニー主幹



いけだ しゅんすけ  
池田 俊介

1987年龍谷大学法学部法律学科卒業。

同年、当時の松下電器産業に入社。

国内の設備機器営業を10年余り、照明や換気空調の分野で、香港、メキシコ駐在を含む海外営業や海外事業企画を経験し、グローバルに活躍。現在はパナソニック株式会社の人材開発カンパニーで新入社員の導入教育など若手社員の指導、育成に携わる。

保護者の皆さまは、お子さま方の就職について非常に期待もされているし、心配もされていると思いますが、この就職活動をどの様に前向きにとらえて自己成長につなげていくのか、就職活動をする上で学生自身がどういうことに気をつけて大学生を送ったらいいのかといったことを主として、保護者の方がどういう態度で接したらいいのかといったことも共有させていただければと思います。

今日、私は3つの立場でお話いたします。一つめは龍谷大学の卒業生であること、1987年に法学部を卒業し、当時の松下電器産業(現パナソニック)に入社しました。自分に合った会社に入社ということが一番大事なことではあるのですが、規模の大きさや知名度といったことも就職活動が上手いといった一つの指標と考えるならば、就職活動が上手いといった卒業生という立場。二つめは、企業人としての立場。現在パナソニックで人材開発の仕事に携わっております。三つめの立場は、私も3人の子どもがおりまして、保護者の皆さまと同世代で、子育ての難しさや苦労や喜びを感じております。就職を控えている息子もおります。この3つの立場でお話できればと思っております。

就職活動で何が大事なのか。企業側の立場からすると、目指す会社のことを詳しく勉強してきて、熱意を伝えてくれることは嬉しいのですが、あまりに詳しく学生さんの方から会社のことを話されても会社側としてはわかっていることなので、それよりも「あなたは大学でどういうことをしたのか」「何を頑張ったのか」「それをこれからどうふうに活かしたいのか」ということを自分の物語として語れるのか、企業としてはそのことを一番求めます。「大学生の本分にどこまで徹しているか」ということを重視しています。大学生の本分は何かというと勉強です。大学は就職の予備校ではなく、学問をする場です。学問の世界は非常に深く広いので、卒業まででできることは学

問の入口に立ってその景色を眺めるぐらいのことかも知れませんが、その経験があることが、企業が大学卒を求めている理由です。

私自身の大学時代を振り返ってみますと、勉強は一所懸命やったという自信はあります。龍谷大学からパナソニックに入社した人は少ないので、龍谷大学でも稀にみる頭のいい学生だったと思われるかもしれませんが、一浪しましたし、経営学部は不合格でした。龍谷大学が第一志望ではなかったのですが、気持ちを切り替えて「龍谷大学に来て良かった」ということにしようとして最初決めました。勉強することは嫌いではなかったので、大学の授業は皆勤で席も真ん中の一番前と決めて、私の定番の席でした。そうすると先生は覚えてくれます。また大学でしかできないことをやりたいと思っていましたが、それは先生とのコミュニケーションです。私はなるべく先生の研究室にお邪魔をしていました。ゼミの先生だけでなく、語学の先生のところもお邪魔しました。そうすると、先生はものすごく感激してくれます。龍谷大学の先生方は教育熱心で「教えたい」という気持ちが強く、聞いていないことも、いろいろと教えてくださいました。是非お勧めしたいのは、先生とのヒューマンコミュニケーションです。もう一つは、部活ではないのですが、大学時代ポピュラーをやっておりまして、競技人口の少ないスポーツではありますが、関西で2位というところまで行きました。その関係でインストラクターのアルバイトをして、いろいろな社会人の方々や接することができました。このように勉強と運動、アルバイトで充実した大学生活を過ごした結果、就職活動も上手いといったのではないかと考えています。ですから、繰り返しになりますが、大学生の本分に徹することが就職活動の鉄則になると思います。

次に企業が大学卒業者に求めていることは、基礎力の高さです。基礎力の根幹をなしているのは基礎学力です。情動的な



ものについては、時代によって変わりますが、基礎力がしっかりあれば、その時々で対応できます。企業から受け入れられる、企業に求められる力のことをエンプロイアビリティと言います。直訳すると雇われる力ということです。会社に入った後も、一回入ったらおしまいではなくて、リストラという嫌な言葉もありますが、常に喜んで働ける状態、今辞めさせられてもすぐ就職できる状態、あるいはステップアップできる状態にしておくことです。エンプロイアビリティの継続的な維持向上のため勉強する習慣を大学時代に作り、本を読むこと、学ぶことが生活の中に当たり前にあることが大事です。

偏差値で刻まれた大学のランクのようなものがありますが、どれくらい意味があるのか。いわゆる大学名で学力を推し量るように一般的には思われていますが、偏差値は18歳時点でのそれまでの学習の度合いを予備校などの受験産業がランク付けしたものです。18歳以降の学び、また社会人になってからも学び続けることによって逆転するものです。ただし、大学の名前が全く関係ないかという、そうでもないこともあって、私の会社のような規模のところだとリクルーターの大部分が、いわゆる有名大学と言われる大学の卒業生です。そのリクルーターによって最終的に内定、入社する比率が高いので、結果的には有名大学の出身者が多くなってはいます。それを肯定している現状として有名大学の出身者について言えることは、天才的な頭の良さがある人か、戦略的、計画的に勉強を継続できる人か、勝ち癖がついている、自分に自信のある人ということです。そしてそういう有名大学出身者を採用して、働きもよいという実績が有名大学から繰り返し採用されているということがあります。しかし、有名大学以外はチャンスがないということではありません。受験というフィルターとは別の方法で自分の力を証明できればいいのです。私の会社も関西が本社の企業ですし、龍大は京都ですから。比較的近いものがある関係だと思います。もう少し挑戦してほしいと思っているところです。自分の基礎力の高さを示す方法の一つは大学の成績です。資格やTOEICの勉強もいいと思いますし、自分の研究テーマを自分で語ることができるということも大事なテクニックではないかと思えます。必ずしも大企業がいいというわけではありませんが、卒業生の活躍という目で見たとときに、規模の大きな会社に入ることも大学の知名度なり人気を高めることに貢献するのではないかと思います。大企業を目指す方々がいらしゃれば、ぜひ、諦めないで挑戦してほしいと思っています。

最終的には面接で合否が決まりますが、面接の時のコツがあるとすれば、自分はこういう人間なのだということを自分で整理し再確認することです。その際、自分の長所だけでなく、自分の短所もしっかりリストアップして、全てが自分自身の大事な一部なのだ自分を受け入れることです。それで、自分

はこういう人物なのだとか自己像を形作り、その自己像を見ていただくのが面接です。面接官もいろんな質問をしてきます。最初は簡単に答えられるような質問ですが、次第に難しい質問になってきます。その答えに正解はないのですが、大事なことは、自分はこう思うということがすぐにリアクションできることです。一問一答式の準備をするのではなくて、どんな質問が来てもいい状態を用意するわけです。

この準備をサポートできるのが、保護者の皆さまです。長所、短所をよく見てもらっしょと思いますが、特に就職活動中には長所を言ってあげてください。「私のそんな長所を見てくれたのか」と思う長所をさりげなくタイミングを見計らって言ってあげるのが、いい関わり方ではないかと思えます。大学生は、自分の考えを持っています。過干渉にならないように、控えめすぎるくらいでちょうどいいと思います。肯きながら、話を聞いてあげるスタンスがちょうどいいのではないかと思えます。

龍谷大学は私立大学ですので建学の精神があります。龍谷大学の場合は親鸞聖人の教え、浄土真宗の教えです。仏教の勉強が必修科目「仏教の思想」になっています。また、宗教部が作られた「龍大はじめの一步」という冊子がありますが、これをしっかり読んで、龍大の考え方、浄土真宗の教えをつかんでほしいと思います。一般的には他力本願という他人の頑張りに頼るといったネガティブな印象があると思いますが、本当の他力本願の意味はそうではないという説明ぐらいは、龍大の卒業生だったらできるようになっていただきたい。龍谷大学にいる人にしかできなかったことをきちんとやっていたという話を面接でできたら、そこで全力を尽くしたということを証明できることになります。ということは、入社後、希望の仕事に配属されるかどうかかわからないけれども、その配属場所ですべて懸念やってくれる人なのだろうと容易に推定できるのです。そういう意味でも、就職のテクニックに走るのではなく、龍大生の本分、大学生の本分が重要だということを繰り返しお伝えしたいと思います。

お子さまは縁があって龍谷大学に通われていますが、たまたまではないのです。私も卒業して30年以上たちますが、龍谷大学でないといけなかったのだと思います。今、私は非常に満足した社会人生活をしており、毎日楽しく会社に行っております。そういう状況も、龍谷大学を卒業したおかげだということが少なからずあります。今はわからないかも知れませんが、その時その時を一所懸命である学生時代の経験が今につながるということを是非、お伝えいただきたいと思えます。

まだまだお話ししたいことはありますが、次のプログラムもあると聞いております。ご静聴ありがとうございました。

# Information

## 災害事由による各種奨学金等のご案内

6月の大阪北部を震源とする地震、7月の豪雨等自然災害により被災されました皆さまにお見舞い申し上げます。

親和会では、被災された学生・保護者の方に対して、特別見舞金制度を設けているほか、奨学金事業も実施しております。申請窓口は学生部となっておりますので、ご相談ください。

詳しくは大学HPのトップページ「重要なお知らせ」に掲載しているページからご参照いただけます。

## 第44回龍谷大学成人のつどいを開催します

龍谷大学の「成人のつどい」は1976年に始まり、このたび44回目を迎えます。

本年度の開催は、2018年12月16日(日)11時より大宮学舎にて開催します。今年度二十歳になる新成人の皆さんには、宗教部より案内がきを送付いたします。昨年の成人のつどいに参加できなかった方、新成人を応援される方もご参加いただけます。本学ならではの荘厳かつ和気藹々とした成人式はきっと想い出深いものになるでしょう。保護者の皆さまもぜひご参加ください。参加は無料です。詳しくは宗教部までお問い合わせください。



## ホームカミング・デー2018を開催します

在学生の保護者・卒業生の皆さまを対象に「ホームカミング・デー2018」を開催いたします。開催日は、10月27日(土)瀬田学舎、11月3日(土)深草学舎を予定しています。今年度も学生による学園祭「第96回龍谷祭」に併せて実施し、ご参加いただける保護者の方には、模擬店利用券をお配りします。また、事前申込が必要ですが、西本願寺ツアーも企画しています。詳細は、同封の案内チラシをご覧ください。皆さまのご参加をお待ちしています。

## 複数在籍者の親和会費一部返金手続きについて(1年生保護者対象)

親和会費は、「1会員(保護者)1会費」としています。本学にお子さまが2名以上在籍されている場合は、最上級生1名分を除き、親和会費をいただいております。

但し、新入生については、入学手続きの関係により会費を一律にいただいておりますので、同封の会費返金申請書にて返金申請をお願いします。お手数ですが、親和会事務局までFAXまたは郵送にてご送付ください。

## 2018年度第1学期(前期)成績表を保証人宛に送付します

年2回(3月・9月)、保証人宛に成績表を送付しております。9月下旬に、第1学期(前期)の成績を反映しました成績表を送付いたします。学修状況の確認、親子間のコミュニケーション等にお役立ていただければと思います。

なお、成績表や各種ご案内などを送付させていただくため、送付先住所に変更がございましたら、必ず学生ご本人が各学部教務課で「保証人の住所変更手続き」を行っていただくようお願いします。

## 龍谷大学創立380周年記念事業募金寄付金ご協力をお願いします

龍谷大学は、1639(寛永16)年に設立された西本願寺の学寮を起源とし、爾來370余年にわたり、建学の精神(浄土真宗の精神)に基づき人間性豊かで深い学識と教養をそなえる人材の養成に取り組んでいます。

このたび、2019(平成31)年度に龍谷大学創立380周年という大きな節目を迎えるにあたり、龍谷大学がこれまで培ってきた歴史や伝統を積み重ねつつ、社会からの負託に応え、社会をリードする大学となることをめざすとともに、さらなる大学発展と飛躍を図るべく、創立380周年記念事業を執り行うことといたしました。

保護者の皆さまにおかれましては、既に「ご寄付のお願い」にかかる冊子をお送りしているところですが、龍谷大学創立380周年記念事業の意義をご理解いただき、任意ではございますが、寄付にご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

○龍谷大学への支援(寄付)について

<https://www.ryukoku.ac.jp/contribution/>

# Schedule 2018年10月～2019年3月

| 月    | 内 容             | 日にち        | 対 象                   |
|------|-----------------|------------|-----------------------|
| 10月  | 授業実施日           | 8(体育の日)    | 全学共通                  |
|      | 報恩講             | 18         | 全学共通(終日休講)            |
|      | 履修辞退受付期間        | 15～19      | 学部・大学院                |
|      |                 | 25・26      | 短                     |
| 11月  | 龍谷祭(瀬田)         | 27・28      | 全学共通(27日:全学終日休講)      |
|      | 龍谷祭(深草)         | 2～4        | 全学共通(2日:全学終日休講)       |
|      | 授業実施日           | 23(勤労感謝の日) | 全学共通                  |
| 12月  | 集中講義            | 18～21      | 短                     |
|      | 集中補講日           | 26         | 学部・大学院                |
|      | 補講期間            | 25～28      | 短                     |
|      | 冬期休業            | 27～1/5     | 学部・大学院                |
|      |                 | 18～1/5     | 短                     |
| 一斉休暇 | 29～1/5          | 全学共通       |                       |
| 1月   | 授業再開            | 7          | 全学共通                  |
|      | 第2学期授業終了        | 21         | 学部・大学院                |
|      | 後期授業終了          | 21         | 短                     |
|      | 集中補講日           | 22         | 学部・大学院                |
|      | 補講期間            | 22         | 短                     |
|      | 第2学期定期試験期間      | 23～29、2/2  | 学部・大学院                |
|      | 後期定期試験期間        | 23～29      | 短                     |
|      | 春期休業            | 30～3/31    | 短                     |
| 2月   | 第2学期定期試験期間(予備日) | 2          | 学部・大学院                |
|      | 春期休業            | 4～3/31     | 学部・大学院                |
|      | 集中・補講期間         | 2～5        | 短                     |
|      | 追試験期間           | 14・15、18   | 全学共通                  |
| 3月   | 卒業式             | 14         | 深草学舎／文・済・営・法・政・国・短    |
|      |                 | 15         | 瀬田学舎／理・社・農 (大学院含む)    |
|      |                 | 16         | 深草学舎／大学院(文・法・済・営・国・政) |
|      | 学年終             | 31         | 全学共通                  |

※略称 「文」=文学部 「済」=経済学部 「営」=経営学部 「法」=法学部 「政」=政策学部  
「理」=理工学部 「社」=社会学部 「国」=国際文化学部、国際学部 「農」=農学部 「短」=短期大学部  
「学部」=全学部(短・大学院除く)対象 「大学院」=全研究科対象 「全学共通」=学部・大学院・短の全対象

## ■Schedule [保護者用]

| 開催日            | 内 容                     |
|----------------|-------------------------|
| 2018年10月22日(月) | 第1回親和会役員会               |
| 2018年10月27日(土) | ホームカミング・デー2018(瀬田キャンパス) |
| 2018年11月3日(土)  | ホームカミング・デー2018(深草キャンパス) |
| 2019年1月21日(月)  | 第2回親和会役員会               |



## 保護者相談窓口のご案内

親和会では保護者(保証人)の皆さまの疑問に答えるべく、専用電話とメールアドレスを設けております。親和会事業についてももちろんのこと、大学に対するお問い合わせ、相談、ご要望など、お気軽にお寄せください。

保護者  
相談窓口

親和会事務局直通電話: **075-645-2780** (9時～17時[土・日・祝日、大学一斉休暇日 休業])  
メールアドレス: [sinwakai@ad.ryukoku.ac.jp](mailto:sinwakai@ad.ryukoku.ac.jp)  
ホームページ: <https://www.ryukoku.ac.jp/parents/index.php>

龍谷大学親和会 龍谷ミュージアム

## 無料ご優待証

### 龍谷ミュージアム 無料ご優待

期日:2018年3月24日(日)まで

※1回のご来館につき、親和会員(保護者)を含め2名まで無料でご入館いただけます。

※期間中何度でもご利用いただけます。

※本誌をミュージアム受付でご提示ください。

親和会・親和会だよりに関するご意見、ご要望などは下記までお寄せください。



龍谷大学

RYUKOKU UNIVERSITY

龍谷大学 親和会事務局

編集:龍谷大学 親和会だより編集委員会

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67

Tel:075-645-7888 Fax:075-642-8867

Mail:sinwakai@ad.ryukoku.ac.jp

<https://www.ryukoku.ac.jp/parents/index.php>